令和５年度　友々大学（高齢者教室）・女性学級等(自治会連合会)合同学習の足跡

第	テーマ	講　師	開　催　日　時	参加者数/会員数（出席率）
4回	地域人権学習 「防災と人権」	元市教委　生涯学習課　人権学習室指導員　三輪　知志さん	令和５年８月８日（火）　10:00 ～ 11:30 講義	１８名／７１名 （２５.４%）

学習の様子

昨今、全国的に自然災害が多発しており、小野地域においてもかつて大きな災害が発生したこともあり、防災対応の個人・組織の知識や技能の向上が求められています。その活動の中で互いに人権を尊重していくための方途について元市教委人権学習室指導員の三輪さんにご講演をお願いしました。

まず、自分の住んでいる場所の被災予想情報(ハザードマップ等)などを幅広く持続的に収集、更新し続けることが「自助」の第一歩につながるということです。次に「思い込み(バイアス)眼鏡をかけていることを忘れない」という啓発アニメビデオを視聴しました。災害発生時私たちは「他は危険でも自分は大丈夫」「誰も逃げないから避難しなくても大丈夫」というバイアスがかかっています。これをはずし、自分だけでなく、状況や立場が異なる少数の他者への配慮を欠かさず、自他共に安全で安心できる場所の持続的構築が「防災時の人権」にとって最重要となります。終了後、受講生から「互いに声をかけあう避難・防災を心掛けたい」との声が寄せられ、有意義な講座となりました。

参加者からのアンケート結果

満足度の状況

満足度	凡　例	回答数	割合
5	大いに満足した	６名	35.3%
		４名	23.6%
4	満足した	５名	29.5%
		１名	5.8%
3	どちらとも言えない	０名	
		１名	5.8%
2	少し不満	０名	
		０名	
1	全く不満	０名	
		17/18名	100%

全体満足度
(3.5 以上)
94.2%

凡例
- 50%～
- 40%～
- 30%～
- 20%～
- 10%～
- 0%～

参加者からの意見・感想(文末表記を簡略化)

- 自分の事として考えます!!
- 防災意識をたかめる事が大事と色々な面でよく分かりました。いざ災害にあった時の行動へのとり方を考えさせられました。(2)
- 自分は大丈夫という思いはしない。防災意識をもっと高める必要がある
- 大変勉強(参考)になりました。自分だけでなく人にも声かけ大切だと思いました。ありがとうございました。(5)途中 10 分位休憩が欲しい
- 小野地区の事を良く調べておられて感心しました。
- 実践する事が多くありました。ありがとうございました。
- 改めて防災の大切さを教えて頂き自ら実践をしなければと考えさせて頂きました。